



証券コード 9248

# 2026年9月期 第2四半期(中間期) 決算補足資料

2026年5月14日(木)



1. 2026年9月期 第2四半期(中間期)決算ハイライト
2. 2026年9月期 連結業績予想

# 1. 2026年9月期 第2四半期(中間期) 業績

## 受注高、売上、利益ともに通期計画通りに進捗

	2025年9月期 中間実績	2026年9月期 中間実績	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率	(百万円)	
					2026年9月期 計画	対前期 増減率
受注高	19,219	22,444	3,225	16.8%	48,050	4.0%
売上高	23,818	24,791	972	4.1%	44,800	▲2.6%
営業利益	2,434	3,600	1,165	47.9%	2,300	▲14.3%
営業利益率	10.2%	14.5%	4.3%	—	5.1%	—
経常利益	2,462	3,711	1,248	50.7%	2,318	▲14.4%
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,563	2,399	835	53.4%	1,236	▲21.0%

### ■ 受注高・売上高

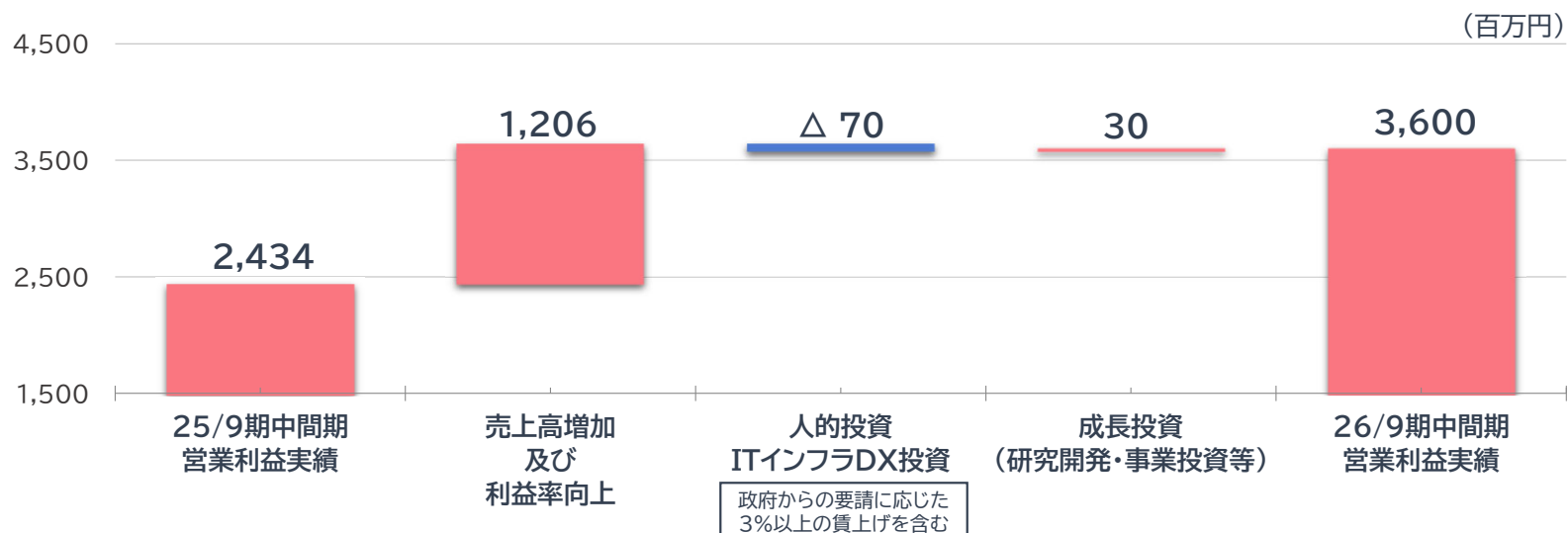
- 基幹事業の受注が寄与し、受注高は堅調に推移
- 前期の好調な受注、及び引き渡しの早期化により売上高は増加

### ■ 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益

- 売上高の増加、並びに業務の効率化等により、増益傾向となる
- 当初より計画・実行している先行投資(事業領域の確立と拡大に向けた研究開発投資、人的投資、生産性の向上に向けた IT/DX 投資等)を着実に実施しながらも、順調に推移

## 2. 営業利益の増減要因分析

売上高の増加・利益率向上等により、処遇改善を行いながらも、対前年同期比+47.9%となる



### ■ 営業利益増加要因

- 引き渡しの早期化による売上高の増加、並びにIT/DX投資による業務の効率化等に起因する利益率の向上
- 成長投資(研究開発・事業投資等)は継続実施するも、26/9期中間期時点では25/9期中間期と同水準となる

### ■ 営業利益減少要因

- 人的投資(受注の加点要素となる賃上げ等)、並びにIT/DX投資の継続実施

## CONTENTS

1. 2026年9月期 第2四半期(中間期)決算ハイライト
2. 2026年9月期 連結業績予想

# 1. 2026年9月期 連結業績予想

2026年9月期(中間期)では、概ね通期計画通りに進捗。通期予想は通期計画から変更なし

	2025年9月期 実績	2026年9月期 通期予想(計画)	対前期 増減額	対前期 増減率	(百万円)	
					2026年9月期 中間実績	対前年同期 増減率
受注高	46,222	48,050	1,827	4.0%	22,444	16.8%
売上高	45,984	44,800	▲1,184	▲2.6%	24,791	4.1%
営業利益	2,683	2,300	▲383	▲14.3%	3,600	47.9%
営業利益率	5.8%	5.1%	▲0.7%	—	14.5%	—
経常利益	2,708	2,318	▲390	▲14.4%	3,711	50.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,564	1,236	▲328	▲21.0%	2,399	53.4%

## ■ 受注高・売上高

- 受注高は、好調な受注環境を背景に堅調に推移する見込み
- 売上高は、現時点では通期計画通りの見込み

## ■ 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

- 現時点では通期計画通りの見込み